

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 2 月 22 日(月)	開催時刻	13 時 30 分から 16 時 00 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 21 年度第 11 回)		
出席者	小林会長、白石副会長、浅井委員、安藤委員、飯島委員、一之瀬委員、岡田委員、荻原委員、栗田委員、佐藤委員、塩入委員、田口委員、竹田委員、中村委員、宮本委員、森田委員 (欠席委員)池田委員、栗俣委員、安井委員、山極委員 (事務局)浅野まちづくり協働課地域振興政策幹、 小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第			
1 開会(浅野まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ 2月2日に、皆さんにまとめていただいた2つの提言を、市長に意見書として提出した。市長も意見を真摯に受け止めるとおっしゃっておられた。マスコミ各社にも取り上げていただき、市民の皆さんにも関心を持っていただいたのは確かだ。この提言が起爆剤になれば、検討・研究したかいがあったと思う。これからも市民として結果を見極めたいと思う。皆さんのこれまでの活動に感謝申し上げたい。 本日は、わがまち魅力アップ応援事業の中間報告をいただくが、審査を実施した立場としてやりっぱなしでなく、真剣に内容について見極めていきたい。			
3 会議事項			
(1) わがまち魅力アップ応援事業報告会			
報告事業プレゼンテーション			
〔個性あるふるさとづくり応援事業〕			
報告事業1「歴史的街並みを保存、活用し発信する事業 柳町ミュージアムプラン」			
【成果や課題】			
・地図・冊子を作る過程で所有者自身の柳町の古民家(商家)への評価が高まり、北国街道から蛭沢川までの内部のほとんどが公開可能になりつつある。今年度柳町に新しい店が3店開店した。これも本事業の成果の一つであると思う。			
・歴史的建築物の保存は地域住民の個人的努力のみでは不可能だ。柳町の街並みの保存と活用も上田市の行政と無関係ではいられない。「長期的戦略」にたった「城下町上田」の街並み保存と活用を考えていく必要がある。			

【今後の予定】

- ・次年度は地図の再版、図と写真を主とした冊子の発行に取り組む。また、CD作成やネット配信も試みていく予定だ。
- ・柳町資料館設置に向け、建築物の歴史的調査と資料の収集を進める。

主な質疑・事業者からの回答

委員：パンフレットを作り、古民家を借り受けて中を開放して見学できるようにするとお聞きした気がするが、そちらの計画はどうなっているのか。成果のところ、北国街道から蛭沢川までの内部のほとんどが、公開可能になりつつあるとあるが、どの程度可能なのか。

事業者：何件かのお店を店だけでなく、中までみせる準備をしている。今年の夏に街並み見学会案内を行ったときに実施し、建物内部の格子や裏の川までみていただいたりもした。

報告事業2「『押出川流域』ウォーキングトレイル整備事業」

【成果や課題】

- ・アカシアの3分の1を伐採し、その箇所に里山の樹木を植樹した。
- ・段丘斜面は荒廃し藪で入山できなかったが、ひとが歩ける整備道路を開通させた。
- ・押出川の洪水対策は市と協議し、下流部分は道路・橋の嵩上げでの施工に変更してもらい、これにより昔の染物屋の反物流しの景観は守られた。

【今後の予定】

- ・ホタルは川の本流部分では石垣が高すぎ増加が見込めない為、保健センター北側の押出川分流の側溝での育成を検討していく。
- ・押出川に接している材木町・周辺企業にも参加を呼びかけていく。

報告事業3「愛宕町の生い立ちを学び歴史を後世に残す事業」

【成果や課題】

- ・町の成り立ち、町名の由来等を調査し、先人の気概を知ることにより、住民の町への関心、意識の高揚に繋がった。
- ・全住民参加による事業の実施によって、世代間の交流と協力が図られた。また、自治会の新しい担い手を呼び込む機会となった。
- ・高齢化、人口の減少化が進む中で、自治会として何が出来るのか。創立80周年の成果を今後どう活かしていくか、がこれからの課題だ。

【今後の予定】

- ・ 記念誌の作成
- ・ 公会堂のサロン化など高齢者対策の検討、講演会
- ・ 地域の歴史や史跡めぐりの探検

主な質疑・事業者からの回答

特になし

報告事業4「岩下地区内の歴史遺産を活かした魅力あるふるさと創り」

【成果や課題】

- ・ 調査するうち、古くから地域に住んでいても知らないことが多かったという感想もあり、思い出話にも花が咲き、当初の目的に近づいた。
- ・ 事業を始めたことに多くの区民から「喜びの声」もあり、今後も継続していきたい。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、看板を設置する。
- ・ 看板で表現しきれないものは、名称だけの標柱を設置し、最終的には冊子を作って、その中に説明を入れたい。
- ・ 場所案内板（方向札等）の設置を行う。
- ・ 全体の案内図を看板にして作成する。

主な質疑・事業者からの回答

委員：この機会に地区の「ふるさと文化保存会」を立ち上げていただいたことは、有意義なことだと思う。

委員：新しく転入された住民の方や参加されていない方々をどのように巻き込んでいくか。また、子供たちにも大切な遺産があることを伝えて欲しい。一部の人のみでなく住民の皆さん全体に浸透していかれるように考えていただきたい。

事業者：公民館事業の中で、岩下の史跡めぐりの計画があったが、雨天のため中止となり、当日は岩下でロケをした映画の上映会を行った。そこでも史跡の話をし、老人会や公民館の集まりの都度、この事業についての報告をしてきた。新年度は早めに計画を立て、雨天の対応も考えていきたいと思う。

報告事業5「蛸と花ももの里事業」

【成果や課題】

- ・ 蛸まつりは300人程度の参加があった。
- ・ 子供からお年寄りまで参加していただき、親睦の芽が膨らんだ。

【今後の予定】

- ・ 荒廃農地の活用（花桃、草花等の植付の検討）
- ・ 花桃・芝桜の開花状況により、花見交流会を行う予定
- ・ 近くの自治会に働きかけ、子供たちに蛍の鑑賞をしてもらう。

主な質疑・事業者からの回答

事務局：蛍はかなり見られたのか。

事業者：約 10 日間位はすばらしい眺めだった。

委員：子供から大人まで参加して行えて良かったと思う。

事業者：今年は荒廃農地に、子供たちと一緒にそばと米を作ろうと考えている。

委員：蛍が一番盛んに飛ぶ時間帯はいつごろか。

事業者：一番飛ぶのは、天気のいいときの 8 時半から 9 時半ころだ。

報告事業 6 「越智章仁ピアノコンサート～心の花束～事業」

【成果や課題】

- ・ 200 名を超える来場者があり、多くの方にご参加いただきよかった。
- ・ さまざまな団体の皆さんと交流が持て、障害者や健常者といった枠を超えて音楽を楽しみ、お互いの理解を深めることが出来た。
- ・ 来場していただいた方々に、よかったとの声をたくさんいただいた。
- ・ 課題としては、予想以上の反響のため、前売りのチケットをお断りしなければならなかった。また、会場が狭く、来場してくださった方に迷惑をおかけしたことも見られたので、次回はこれらを考慮し開催出来たらよいと思う。

【今後の予定】

- ・ より多くの皆さんに聞いていただけるように会場を大きくし、再度、音楽コンサートを開催したいと考えている。

主な質疑・事業者からの回答

事務局：来年の会場は予定されているのか。

事業者：検討中で、場所の確定はしていない。

報告事業 7 「真田幸村ファンの集い街中イベント」

【成果や課題】

- ・ パネラーとの交渉を通じて真田に対するさまざまな視点が明らかになった。
- ・ 戦国ブームの本質をきちんと捉え、長続きする活動の根本を見極めることが出来た。

- ・他の団体の事業とも協働することで（商店街の幸村キャラクター開発事業）大きな相乗効果を得ることが出来た。
- ・パネラーの選択、交渉やコンテスト参加者との事前やり取りによって、真田ファンの全国的な層の厚さを実感できた。

主な質疑・事業者からの回答

委員：戦国ブームの本質をきちんと捉え、長続きする活動の根本を見極めることが出来たとあるが、どのようなことか。

事業者：戦国武将のゲームからブームが始まったが、武将の本質的な部分や・目的が定まっている生き方が、この流行の本質ではないか。真田というテーマを掲げることにより、多くの思いのある方が集まってくれる。地域のみならず、遠方からも賛同していただける方と一緒に、協力し合って長期的に活動していきたい。

委員：参加者は同じ方たちなのか。

事業者：パネラーの選択は実行委員会で行ったが、実際には陣太鼓の皆さんや劇団の皆さんで、参加できる方に参加していただいた。

委員：市民の方の参加はどうだったか。

事業者：トークセッションで、220名位、コンテストは200名位の参加になる。

委員：2年間の事業で1年目は真田幸村の勉強をし、2年目にトークセッションとコンテストを行い、イベントとしてはこれだけとなる。真田幸村をテーマにして、中央商店街への誘客と賑わいの創出が真の目的と思うが、そちらの効果はどうか。

事業者：人が集まったからといって、各店が潤うことはない。人が集まることにより、地元の方たちも集まるだろうと考えている。イベントとして出来ることは、まずは賑わいだ。効果を上げるためには、イベントと同時にそこにリンクする別の仕掛けが必要になる。2年間で意識の改革が出来たし、次のベースの部分は芽生えたと思う。

委員：イベントの2日目に来た方は、共に参加するためにパフォーマンスをしてきた。その方たちがオープンスペースで歩くようになると、歩行者の方たちにも見ていただける。出来ればたくさんの方にみていただきたいかった。

委員：イベントに対して影の仕掛けが必要とのお話があったが、このトークセッションとコンテストにあわせて、中央商店街にどのような仕掛けをしたのか。

事業者：このときは、真田グッズの展示販売と、原町一番街商店会で野菜市やそれぞれの店舗が幸村市を開催し、その併設により店舗以外での販売が出来た。

報告事業8「千本桜まつり支援まちなか回遊事業」

【成果や課題】

- ・沿道の各所にてまち歩きマップを事前に観光客等に配布し、スムーズに街中を散策していただくことが出来た。

- ・写真店や、商店街での漬物、お茶のサービスにより、他の観光地とは違うふれあいを体験できたという声が多かった。
- ・地元のお休みどころを示す上り旗や椅子も大変喜ばれた。

【今後の予定】

- ・千本桜まつりに向け、商店街の方や、団体の方と連携して、商店街の回遊性を推進していきたい。

主な質疑・事業者からの回答

委員：6000人という大勢の方が回遊されたということで、成果はあったと思う。このようなチラシを配布することで、お客さんに来て頂いたが、商店街の皆さんの中でそのことに対する感想等があったらお聞かせ願いたい。

事業者：商店の中には大変だったという意見もあった。しかし、店頭にお客様が来て座ってお茶を飲んでいただくことにより、お客様と触れ合えることがわかった。業種によりいろいろあるが、いい動きだったと思う。

委員：ツアー客は添乗員の旗の後ろを歩くのが忙しく、チラシをいただいても寄る時間がないくらいだったというお話を伺った。実際の程度効果があったのか。

事業者：バスの添乗員さんに事前にお話しをして、寄っていただくように対応したが、時間的なことや公園と商店街の間が遠い為、年配層の方には大変だった。今回はやることに意義があったと思う。観光バスは櫓下に1000台来るといわれている。一部でも市街地に来ていただき、また来ていただけるように考えたつもりだ。

委員：チラシのマップは大変すばらしい。おもてなしの心もすごく感じた。今回で課題が見えたので、商店街の方たちの足並みをそろえて次年度にはステップアップしていただきたい。

報告事業9「悠々の歴史に息づく信濃国分寺を核とした魅力ある地域づくり」

【成果や課題】

- ・歩道・花壇・蓮田等の整備、市の広報・新聞・テレビなどメディアによる活動の紹介が、来場者の増加につながった。
- ・デイサービスセンター・宅老所などからの車椅子での見学が多くみられた。
- ・保育園児による蓮の植栽・イベントへの参加等により園児との交流が出来た。

【今後の予定】

- ・会員の親睦と連帯意識の向上を図り、イベントの開催・蓮田花壇の整備等継続した取組により、引き続きアピールする。また観光振興、活性化事業に寄与していきたい。

・今後続けていくために、いい仲間作りをしていくことが大切と思う。会員の親睦を深めていきたい。

主な質疑・事業者からの回答

委員：課題は後継者作りだと思う。全市から会員を募集してもいいのではないか。PRの仕方をご検討いただけたらと思う。

委員：害虫防除のため薬品を使っているようだが、蓮のお酒を作っても大丈夫なのか。

事業者：農業にも使える薬品は非常に厳しい制約がある。こちらの薬剤を中心に、残留期間の短いものを使用した。消毒後4～5日は残留があるが、それ以降は問題ない。

委員：見学者の中には、マナーを守らない方がいらっしゃるというお話があったが、きちんとマナーを守っていただくように、入り口に景観を損なわない程度に看板を設置してはどうか。

事業者：会員の皆さんが、見学者の皆さんに極力声をかけ、環境を守っていきたくと考えている。ほとんどの方はマナーを守っていただけている。

会長：長時間に渡り、報告会の形で事業内容を知っていただいた。一步踏み出したことが、上田市全体から見ても大きな成果ではないか。来月は来年度の申請をしてきた団体からプレゼンテーションを受けるが、我々の2年間の経験の中で、アドバイスや意見をそれぞれのお立場でお願いできたらと思う。

(2) その他

・「上田市教育支援プラン」について 資料参照

4 連絡事項等

・次回会議の開催

平成22年3月18日(木)開催予定

閉 会